



## 子どもの人権感覚を育てるには

今年も「人権週間」がやってきました。「人権週間」とは1948年12月10日国際連合の総会で「世界人権宣言」が採択され、この日を「世界人権デー」と定めたことにちなんで始まりました。日本もこれを受けて、毎年12月10日の「世界人権デー」を最終日とする1週間(12月4日～10日)を「人権週間」と定め、人権尊重のための啓発活動を全国的に展開しています。

さて、人権週間にちなんで、「人権感覚を育てる」ことについて考えてみましょう。

人権感覚を育てるということは、「目に見える行為の陰には、どんな気持ちがあるのだろうか」ということを考え、「目に見えない思いに気づく心を育てること」ではないかと思います。

ここで2つの話を紹介します。

一つ目は、沢村貞子さんの著書「老いの楽しみ」(ちくま書房)からです。

あれは、私が小学校二年生の時だった。先生から渡された全甲の通信簿をしっかりと抱えて家へとんで帰った。いまのオール5—私は得意だった。台所で煮物をしている母に、  
「あのね、今日、先生にほめられたのよ、私は特別よくできるって・・・ホラ、見て」  
そう言ったのに、「へエ、そうかい」と言っただけで振り向いてもくれない。つい、  
「・・・できない子だって大ぜいいるのよ。ホラ、左官屋さんちの初っちゃんなんか、この間も算術ができなくて、先生にうんと叱られて・・・」

とたんに振り向いた母は、

「つまらないこと、お言いでない。人間、学校の勉強さえできれば、それでいいってわけじゃないだろう。初っちゃんは、算術は下手かもしれないけど、小さい弟たちの面倒をよくみるし、ご飯の支度だってお前よりずっと上手だよ。人それぞれ、みんな、どこかいいところがあるんだからね。先生にちょっとほめられたくらいで、特別だなんて、いい気になるんじゃないよ。みっともない」

母は本気で怒っているように見えた。叱られたことはめったになかったのに・・・。

(母さんの言うとおりかも知れない。初っちゃんは優しくて親切で、私も大好きなのに、悪いこと言っちゃって・・・)

急に恥ずかしくなった私は、握りしめていた通信簿をそっと背中に隠しました。特別という言葉が嫌いになったのは、その時からのような気がする。

もう一つは、岐阜県環境生活部人権施策推進課の「平成25年度ちょっといい話」より「**家族の温かみ**」と題した高校生の作文です。

中学2年生の時の冬、私はささいな事で親とけんかをしました。家にいるのが嫌になり、家出をしてしまいました。そのことに気付いた兄は自転車で私を探し回ったそうです。兄に発見され、木枯らし吹きすさぶ寒い中、一緒に帰りました。

家に着いたら、私の大好きなおムライスをお母さんが作ってくれていました。そのおムライスを食べた時、私は涙がこぼれました。家族の温かさを感じたからです。

いつか必ず家族にこのご恩を返したいです。

このように大人からの言葉かけや行動は、自分の存在をどのように思っているのかを感じとらせる力があります。日々の小さな言葉や行動の積み重ねが、子どもたちに人権感覚を育てることにつながるのではないのでしょうか。

我々大人は、将来子どもたちが、お互いを尊重し合う明るい社会を築くことができるよう、同じ気持ちを持って、「見える言葉や行動」で、子どもたち一人一人に「みえない心」を育てたいものです。

## 部活動報告会を盛大に開催

1月21日（金）体育文化後援会主催による「部活動報告会」が開催されました。

同窓会会長橋本清秀様、校道会会長鈴木文明様を始め、多くの来賓の方々とは各部活動の保護者、教員の総勢103名が一堂に会する盛大な会となりました。会の中では、鈴木校道会会長様から体育文化後援会会長へ激励金が贈られました。（校道会の皆様方から毎年多大なる激励金をいただいております、感謝申し上げます。）その後、各部活動毎に校道会が作成してくれた応援旗を掲げながら、今年度の活動報告と今後の抱負の発表がなされました。互いの健闘を励まし合いながら、親睦を深めることができました。



## 生徒会執行部の取り組み 大木翔太会長を中心に頑張っています！

これからの生徒会活動について、次の3つの目標を立てました。

- 1 須二中のローガンの達成
- 2 先を考えた行動
- 3 有言実行

《生徒会執行部が今取り組んでいること。》

- 毎朝のあいさつ運動
- 毎週金曜日二中周辺の朝のゴミ拾い
- 毎週月曜日定例会
- 毎月最終金曜日のACEプロジェクト
- Cletion Box（意見箱）のさらなる活用
- 生徒会だよりの定期発行

※ACEプロジェクトとは各教室内の整理整頓の状況を点検し、その結果を公表することです。（きれいな教室を目指して）



## 高校受験に備えた校長面接指導開始

12月2日から3年生の受験に備えた校長面接指導が始まりました。一人約10分程度の面接ですが、緊張しながらも、一つ一つの質問に一生懸命答えている姿は、好感が持てます。

「なぜあなたはこの学校を選んだのですか？」は必ず聞かれる内容です。ご家庭でも話題にして頂き、アドバイスをあげると気持ちも落ち着くと思います。よろしくお祈りします。



## 巣（ 饗エー韻）へのご 組のお い。

12月1日（月）付けで学校評価（保護者アンケート）の用紙を配布させていただきました。目的は、本校の教育活動や生徒の様子等について、保護者の方々から率直な考えを聴かせていただき、学校改善の資料とするものです。

このような意味からも、全保護者の方にご協力をお願いしております。12月10日（水）まで、担任へ必ずご提出ください。

なお、アンケートの結果や改善点等は、3学期の授業参観後の学年懇談会や学校だより、ホームページ等でお知らせいたします。

## モーツァルト効果とは？ 勉強の休憩に聴いてみてはどうでしょう！

「モーツァルト効果」という言葉があります。モーツァルトの曲を聴くと頭がよくなる効果のことです。

1993年に米Nature誌に発表され話題となりました。「モーツァルト効果」は、ウィスコンシン大学のラウシャー博士によって発見されました。モーツァルトの曲を聴くと知能指数（IQ）が8～9ポイント上昇するというから驚かされます。しかし、効果は、10分～15分ほどしか持続しないそうです。ただし、音楽はモーツァルトの曲に限るそうです。

モーツァルトの美しいメロディーで右脳が、そして心地よいリズムで左脳がバランスよく活動するのがポイントだとラウシャー博士は説明しています。リラクゼーション効果や胎教音楽にもとてもよいとか。